

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
 C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード)

※校園コードを入力してください。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 円 → 決算額 円

2 配付上限額

学校配当	+	学級数	+	特別支援学級数	×	学級配当
<input type="text" value="350,000"/>		<input type="text" value="11学級"/>		<input type="text" value="3学級"/>		<input type="text" value="50,000"/>
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	<input type="text" value="1,050,000"/>					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- ①「学力経年調査」の国語科・算数科において、市平均との差を前年度より縮める。
- ②国語科・算数科の単元テストの正答率を75%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

- ①当該の4～6年において、ひと学年の国語を除き、他はすべて目標を達成した。
- ②全学年において、すべて目標を達成した。

達成

A

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ①個に応じたきめ細かな徹底した指導を行ったり、繰り返し学習したりすることで、基礎・基本的な学習内容を定着させ、できる喜びを味わわせる。
- ②子どもが生き生きと興味をもって取り組めるよう、教材・教具・ICTの工夫、体験活動の充実など、指導法の工夫・改善を図る。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- ①小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ②小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- ③小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- ④国語科・算数科の単元テストの正答率を75%以上にする。
- ⑤学校アンケートにおいて「宿題や道具を忘れずに持ってきている」と肯定的に回答する児童の割合を

指標に対する達成状況(取組完了時)

- ①当該の4～6年すべてにおいて、目標を達成した。
- ②当該の4～6年のうち、ひと学年で目標を達成し、他の2学年は横ばいだった。
- ③当該の4～6年すべてにおいて、目標を達成した。
- ④全学年において、目標を達成した。
- ⑤学校平均で、前年度を2ポイント上回った。

達成

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

学力向上の課題が依然として解消されていないため、関連予算に重点を置いている。

【裏面に続く⇒】

